

(2) 第1期データヘルス計画 実施保健事業における取組の考察 (※平成29年12月現在)

①特定健康診査事業

※最新で把握できる情報を掲載しているため事業により年度が異なります。

・事業目的 ★29年目標値	事業概要	実施内容 (実績)	★目標達成状況 課題と考察
<p>・生活習慣病の発症や重症化の予防を目的として、メタボリックシンドローム該当者や予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする人を抽出するために実施する。</p> <p>★健診受診率の増加 45%</p>	<p>○対象者 40歳～74歳の被保険者</p> <p>○実施時期 7月～11月及び3月の土日を含む3日間に実施。※未受診者健診は後説明</p> <p>○実施方法 集合契約による県内医療機関における個別健診と、3月に未受診者を対象とした集団健診を実施。※</p> <p>○自己負担金 40歳～64歳 1,000円 65歳以上 500円 非課税世帯 200円</p>	<p>○案内方法 個別受診券の郵送、広報誌(おしらせ版)への掲載、ポスター掲示、健康カレンダーへの掲載、防災ラジオでの周知を行う。</p> <p>○実施率(28年度) 44.2% 2746人 三重県 42.4%、国 36.4%</p>	<p>★受診率向上の目標である45%には0.8ポイント達成できず。</p> <p>・実施率は国や県の平均よりも上回っているが、国が目標とする指標よりは低い。</p> <p>・健診医療機関と連携するなど、引き続き未受診者への対応が必要。</p>

②特定保健指導事業

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施内容 (実績)	★目標達成状況 課題と考察
<p>・特定健康診査結果により選定した特定保健指導対象者自らが生活習慣改善の必要性を意識し、行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活習慣を維持することができるよう指導を行う。</p> <p>★特定保健指導率の向上</p>	<p>○特定健診の結果を元に階層化を行い対象者の選定をする。</p> <p>○対象者(28年度) 積極的支援 38人 動機付け支援 214人</p> <p>○実施期間 1月～翌年9月</p> <p>○実施場所、指導者 保健福祉センターけやき 保健師、在宅管理栄養士</p> <p>○自己負担金 なし</p> <p>○支援内容 積極的支援：40歳～64歳の人で積極的支援が必要な人。</p> <p>3か月以上継続的支援 ポイント制であり、支援Aと支</p>	<p>○案内方法 動機付け支援該当者に特定保健指導利用に関する案内を郵送し、利用希望者を募る。</p> <p>積極的支援該当者に対しては、個別通知の他に、保健師と在宅管理栄養士とで個別に家庭訪問を実施し、利用勧奨を行っている。</p> <p>○実績(28年度) 積極的支援 実施率および利用者 1.4%(3人) 動機付け支援 実施率および利用者 7.8%(21人) うち未受診者健診を利用し保健指導につながった人数6名。</p>	<p>★積極的支援は目標の10%に達成せず。動機づけ支援は、目標の7%を達成した。未受診者時を利用した保健指導については目標の10名に対して4名達成せず。</p> <p>・平成30年度より保健指導の実績評価時期が3か月に短縮されることから、より多くの対象者への支援が可能となる。</p> <p>未利用者への適切な情報提供を含めた対応が必要。</p>

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施内容（実績）	★目標達成状況 課題と考察
積極的支援 10% 動機づけ支援 7% ★未受診者健診 を利用した保健 指導 10名	援 B で合計 180P 以上の支援 (個別、集団支援) 動機付け支援：40 歳～74 歳の 人で動機付け支援が必要な人 65 歳～74 歳の積極的支援に該 当した人。原則 1 回の支援(個 別、集団支援) 集団支援の中に歯科保健教室 を実施。歯科医師、衛生士、管 理栄養士との連携した事業を 行っている。		

③生活習慣病予防対策支援事業（特定健診個別勧奨通知、未受診者健診、重症化予防事業）

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
健康意識及び生 活の質の向上を 目指すとともに、特定健診等 実施率の向上を 図る。 ① ★未受診者への 情報提供 100% ★健診情報提供 者が増加し受診 率に反映する 45 名 ④	①特定健診個別勧奨通知 ○対象者 1 回目：9 月受付分の特定健診 未受診者を抽出。10 月発送に 関しては国保連合会に業務委 託を行っている。 2 回目：1 月受付分の未受診者 を抽出。未受診者健診案内を送 付している。 ○実施日 1 回目：10 月上旬に発送 2 回目：1 月下旬に発送	① 特定健診個別勧奨通知 ○案内方法 1 回目、2 回目とも圧着ハガキによる 個別勧奨通知 ○案内内容 1 回目：通知内容については、国保連 合会において作成したものに独自の 文章を追加して作成している。 2 回目：受診方法と生活習慣予防に関 する情報提供を実施。 特定健診以外の方法で受診の機会が ある対象者に対して、受診結果の情報 提供について周知を行い受診率向上 に対する取組みを実施している。 ○実績(28、29 年度) 1 回目送付数 5,743 人(29 年) 2 回目送付数 4,039 人(29 年) a 健診情報提供者 42 人(28 年) b 人間ドッグ助成者 120 人(28 年)	★①未受診者への通知につ いては全て送付することが できた。健診情報提供者は目 標の 45 名に対して 3 名達成 せず。 ・個別勧奨通知による未受診 者健診申込者は全体の 7% を占めており受診率向上に はつながっている。しかし、 国の目標値よりは低い状態 になっている。 ・腹囲測定を含む特定健診と 同様の健診内容を受診する 機会のある対象者からの受 診結果の情報提供が得られ たことから、受診勧奨効果が 期待できる。

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
<p>②</p> <p>★申込者の増加し受診率向上につながる200名</p> <p>★味噌汁の試飲結果の改善がみられる。</p>	<p>②未受診者健診</p> <p>○対象者 特定健診未受診者</p> <p>○実施内容 業者実施分（検尿、身体計測、診察、心電図検査。必要者のみ眼底検査） 健康福祉課実施分 高血圧予防に関する健康教育(味噌汁の試飲、減塩の工夫)、歯科相談。希望者には健康相談と栄養相談を実施している。 また、申込者の特定健診結果を調べ、特定保健指導該当者へは健康相談利用案内を行い指導率の向上を図っている。</p> <p>○実施日 3月の土日を含む3日間</p>	<p>②未受診者健診</p> <p>○案内方法 未受診者に個別通知を行い申込み制。</p> <p>○実績(28年度)</p> <p>受診者数 185人 味噌汁試飲者数 175人 94.6% ⇒結果 普段より薄い48人 27.4% 同じ 73人 41.7% 普段より濃い 54人 30.9%</p> <p>相談者数 歯科相談 138人 94.6% 健康相談 30人 16.2% 内6人が特定保健指導に繋がる 栄養相談 1人名 5.9%</p>	<p>★②未受診者健診受診数は目標の200人に対して15人達成せず。味噌汁の試飲については、男女とも家庭と同じと答えた人の割合が高かった。</p> <p>・受診の機会を逃した人に対し自らの健康を振返る機会を提供することができた。 95%とほぼ全員の受診者に対して、高血圧予防に関するポピュレーションアプローチ実施につながった。</p> <p>・味噌汁の試飲を行うことで地域の塩分摂取状況に関する情報収集が可能となった。ただ、家庭と比較してどうかと尋ねていることからやや主観的な意見にはなるが、毎年楽しみにしているとの意見もあり、意識づけにはよい機会となっている。</p> <p>・受診者の9割に歯科衛生士による歯科相談を実施することにより、歯科保健に関する取組みの1つにつながっている。</p>
<p>③★非肥満者を含めた腎機能が低下しつつある対象者に健診後の事後フォロー体制の開始を試</p>	<p>③重症化予防事業</p> <p>④腎不全予防検討事業</p> <p>○対象者 28年度 高血圧受診勧奨値にある対象者に受診勧奨実施。 28年度 上記の受診勧奨に加</p>	<p>③重症化予防事業</p> <p>○実績(29年度)</p> <p>国の基準で抽出した人数 32人 尿蛋白偽陽性(町独自) 24人 申込者 3人 うち継続支援 1人</p>	<p>★③④</p> <p>国の動向より、重症化予防対策として、糖尿病性腎症について健康課題として取り組んでいく。重症化予防に関する保健指導は医療との連携が</p>

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
みる。重症化予防の対象者の減少。 ④★腎不全に至るまでの現状把握。	え集団教室実施。 29年度 国の糖尿病性腎症を重症化予防の取組ととらえ、受診勧奨と集団教室を実施。 腎不全に至るまでの現状把握として、国保および後期高齢者保険加入の現状把握を行った。	※医療機関情報提供実施 ④透析導入患者数(29年度) 国保加入者 31人 (内、糖尿病と診断されている人 22人) 後期高齢者保険加入者 46人 (内、糖尿病と診断されている人 28人)	必要となってくることから、三泗管内市町にて四日市医師会との検討会をもっていく予定である。 (30年度より)

④生活習慣病予防対策支援事業（がん検診、30代健診、たばこ対策）

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
・各種がん検診により、がんを早期に発見し適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させる。 ★健診受診率の増加 乳がん、子宮がん 70% 胃がん 22% 大腸がん 47% 肺がん 33%	<u>がん検診</u> ○実施方法と対象者 乳がん 集団検診（30歳以上の女性） 土日検診、託児を実施 個別検診（クーポン対象者のみ） 子宮がん 集団一括（20歳以上の女性） 個別検診（20歳以上の女性） 胃がん 集団検診（30歳以上の住民） 個別検診（40歳以上の住民） 大腸がん 集団検診（30歳以上の住民） 肺がん 集団検診（30歳以上の住民） ○無料クーポン券を乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診の節目年齢に該当する人に配布。	○案内方法 年度当初に検診申込書を各戸配布し、返送してもらう（受取人払い）。おしらせ版、防災ラジオで周知し、随時申込可。申込者に案内通知を送付。 ○受診者数（27年度）と受診率（法定報告より対象者を27年国勢調査をもとに対象者数を算出した推計値） 乳がん 受診者数 集団 1,975人 個別 241人 受診率 77.9% 子宮がん 受診者数 集団 907人 個別 1,099人 受診率 69.5% 胃がん 受診者数 集団 1,419人 個別 1,030人 受診率 20.4%	★・受診率は上がってきているが、近年は微増の推移である。 ・乳がん、子宮頸がん検診無料クーポン券未受診の理由として、「クーポン券の使い方」や「がんの早期は無症状であるが早期に発見すれば治ること」等の周知が不十分であることが考えられたため、未受診者にリコールはがきを送付し、検診についての正しい知識の普及啓発を図ったことで、受診を促す効果があったと考えられる。 ・無関心層の受診を促すために、職場や家族、知人と声をかけあい検診を受けるきっかけとして、無料温泉チケット

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
	<p>国の対象者以外に町独自の対象者に拡大し配布。</p> <p>○乳がん、子宮頸がん検診の無料クーポン券の未受診者にリコールはがきを送付し、受診勧奨を行う。</p> <p>○無料温泉チケット配布事業 特定健診(後期高齢健診、30歳代健診)+がん検診2種類以上受診し、5人1組で応募すると温泉券が当たる事業を実施</p>	<p>大腸がん 受診者数 3,683人 受診率 47.1%</p> <p>肺がん 受診者数 2,818人 受診率 32.5%</p>	<p>ト配布事業を実施。周知が十分でないため、広報をさらに充実させる必要がある。</p>
<p>・30代から生活習慣病予防を目的とした健診を行う。</p> <p>★健診受診率の増加6%</p>	<p><u>30代健診</u></p> <p>○実施方法 集団検診（けやき）にて、</p> <p>○対象者 30歳代の住民</p>	<p>○案内方法 年度当初に検診申込書を各戸配布し、返送してもらう（受取人払い）。おしらせ版、防災ラジオで周知し、随時申込可。申込者に案内通知を送付。</p> <p>○受診者数と受診率（29年度） 受診者数 319人 受診率 6.4%</p> <p>*対象者数は29.4.1 30代人口</p>	<p>★・平成29年度30代健診の際に、協力を得られた220人（男性32人、女性188人）対象に、順天堂大学と共同で「隠れ肥満」に関する研究を行ったところ、①体組成計測定で「隠れ肥満」に該当した人は、男性で5人（15.6%）、女性で17人（9.0%）であった。体重だけでなく、体脂肪率も定期的に測定する必要性が示唆された。</p> <p>・また、こころとからだの健康についてアンケート調査から、仕事や家事、子育てにストレスを抱えている人が多い印象が継続している。</p>

<p>・事業の目的 ★29年目標値</p>	<p>事業概要</p>	<p>実施状況（実績）</p>	<p>★目標達成状況 課題と考察</p>																				
<p>・健康増進法、健康日本 21、健康やか親子いきいきプランみえに基づき、禁煙、分煙に向けた支援を行い、健康被害の予防を行う。</p> <p>★子育て世代の喫煙状況のベースラインの把握</p> <p>★国保喫煙者割合の低下 男性 24% 女性 3%</p>	<p><u>たばこ対策</u></p> <p>○妊娠期喫煙状況把握と禁煙教育</p> <p>○禁煙治療費助成事業（禁煙チャレンジ事業）</p> <p>○禁煙教育</p> <p>○情報提供</p>	<p>○母子健康手帳交付時の面談にて、妊婦とその家族喫煙状況、同室内での喫煙の有無を把握し、禁煙、分煙に向けた情報の提供を行い、健康被害の予防と、子ども達が健やかに成長出来る環境作りへの支援を実施。また、禁煙チャレンジ事業の周知を行った。</p> <p>○禁煙治療に係る自己負担分担金を上限 2 万円まで助成。治療中や終了後にアンケートを実施。対象者 45 名の枠で、42 名の応募があった。</p> <p>○相談、健診等で禁煙に意欲のある方を対象に禁煙をサポート、個別健康教育を行い、喫煙による健康被害拡大を防止し、健康の保持と増進に向けた支援を実施。</p> <p>○禁煙チャレンジ事業の募集期間を世界禁煙デーに合わせ、広報、防災ラジオ、がん検診、母子保健事業などの機会利用して、情報提供を実施した。</p>	<p>・菰野町健康増進計画を策定するにあたり、子ども家庭課が把握している、<u>育児期間中の父親の喫煙率</u>を指標とした。</p> <p>平成 28 年度 父親の喫煙率</p> <table border="1" data-bbox="1153 689 1460 887"> <thead> <tr> <th>健診名</th> <th>菰野町</th> <th>三重県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 か月</td> <td>40.6%</td> <td>36.3%</td> </tr> <tr> <td>1 歳半</td> <td>40.5%</td> <td>37.4%</td> </tr> <tr> <td>3 歳半</td> <td>41.2%</td> <td>36.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成 29 年度より禁煙治療費助成事業を実施するにあたり、医師会/薬剤師会へ協力依頼を行い、協会けんぽ等の関係機関と連携して実施した。</p> <p>・30 年度も継続して実施し、関係機関と協働しながら、さらに周知と啓発を図る。</p> <p>・国保喫煙者割合は低下している。</p> <p>（特定健診質問票調査より）</p> <table border="1" data-bbox="1153 1547 1422 1740"> <thead> <tr> <th></th> <th>菰野町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27 年度</td> <td>12.2%</td> </tr> <tr> <td>28 年度</td> <td>11.45%</td> </tr> <tr> <td>29 年度</td> <td>10.9%</td> </tr> </tbody> </table>	健診名	菰野町	三重県	4 か月	40.6%	36.3%	1 歳半	40.5%	37.4%	3 歳半	41.2%	36.5%		菰野町	27 年度	12.2%	28 年度	11.45%	29 年度	10.9%
健診名	菰野町	三重県																					
4 か月	40.6%	36.3%																					
1 歳半	40.5%	37.4%																					
3 歳半	41.2%	36.5%																					
	菰野町																						
27 年度	12.2%																						
28 年度	11.45%																						
29 年度	10.9%																						

⑤生活習慣病予防対策支援事業（情報発信）

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
<p>・健診場面や各事業場、防災ラジオなどを通じて、健康に関する情報の発信を発信し、生活習慣改善へのきっかけづくりや、正しい知識の普及をはかる。</p> <p>★住民への効果的な周知方法を検討していく。</p>	<p>○健診結果からわかった地域の健康課題や生活習慣病予防の重要性について</p> <p>○健康週間の周知</p> <p>○食中毒警報、感染症予防の周知</p> <p>○熱中症予防に関する周知</p> <p>○食育の日の周知</p>	<p>○運動教室や検診会場において、健診結果からわかった健康課題や注意点等のポスターを掲示し、広く受診者に啓発を行った。</p> <p>○歯と口の健康週間や 8020 推進週間について、防災ラジオを通じて健康づくりの情報発信を実施。</p> <p>○食中毒警報や感染症流行などの時期において、防災ラジオや町ホームページを通じて注意喚起を行い、予防に関する情報発信を実施。</p> <p>○熱中症予防に関するポスターを製作し、6～7月の集団検診会場にて掲示を行った。防災ラジオや町ホームページを活用し熱中症予防の周知を行うとともに、熱中症のリスクの高い高齢者の方が集ういきいきサロン等に出向き、熱中症予防の啓発と周知を実施。</p> <p>○食育の日である毎月 19 日に、健康維持増進と望ましい食生活の実践のための取り組むべき内容について情報発信を実施。</p>	<p>★・強化週間などに継続して発信していくものだけでなく、最新情報についても必要に応じて普及に努める。</p>

⑥職域との事業連携

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
<p>・若い世代からの健康づくりを推進するために、職域との連携を図る。</p> <p>★さらに、事業や検診での連携を考えていく。</p>	<p>協会けんぽとの協同事業</p>	<p>・健診結果及び生活習慣のデータ分析をもとに把握した健康課題から、連携しながら、事業を行った。</p> <p>・けやきフェスタでの骨年齢測定を継続して実施。</p> <p>・新たに、協会けんぽが実施する特定健診（集団）と同時に、町の乳がん検診（集団）も実施。協会けんぽが5月に送付する申込書に、町の乳がん検診も掲載し、受診勧奨を行った。</p> <p>・29年と30年の2月に、菰野町庁舎にて「健康経営セミナー」を協会けんぽと共催で実施し、企業の担当者に健康づくりの周知を図った。</p>	<p>★・今後も、事業や健診の中で、連携可能な取り組みについて意識しながら実施し、内容を広げ、充実させていく。</p>

⑦栄養改善、食育推進事業

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察															
<p>・一人ひとりが生活習慣を改善し、健康に対する正しい知識の普及や自主的な健康づくりに取り組めるよう支援を図る。</p> <p>★親子や40歳以下の若い世代の参加者の増加。</p>	<p>一般食育クッキング教室</p> <p>○対象者 町民</p> <p>○実施期間 6月から3月</p> <p>○実施場所 町内5地区のコミュニティセンター</p> <p>○実施内容 食生活改善推進協議会の協力を得て、地産地消や季節のバランス食、生活習慣病予防のための調理実習と講話を実施している。</p>	<p>○案内方法 お知らせ版での公募と会員からの声掛け</p> <p>○実施状況（27、28年度集計）</p> <table border="1"> <tr> <td>朝上地区</td> <td>137名</td> <td>131名</td> </tr> <tr> <td>鶯川原地区</td> <td>161名</td> <td>152名</td> </tr> <tr> <td>菰野地区</td> <td>131名</td> <td>163名</td> </tr> <tr> <td>竹成地区</td> <td>75名</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td>千種地区</td> <td>144名</td> <td>115名</td> </tr> </table>	朝上地区	137名	131名	鶯川原地区	161名	152名	菰野地区	131名	163名	竹成地区	75名	77名	千種地区	144名	115名	<p>★・食生活改善推進員による地域での活動は、年々、参加者が減少している。近年は男性参加者も増えているが、どちらかといえば高齢者が多く、土曜日や夜間の時間帯で開催してるが、壮年期の参加者は少ない。</p>
朝上地区	137名	131名																
鶯川原地区	161名	152名																
菰野地区	131名	163名																
竹成地区	75名	77名																
千種地区	144名	115名																

⑧運動推進事業（ウォーキング推進事業）

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
<p>・町民の運動習慣の獲得（一次予防）を支援し、生活習慣病の予防と健康寿命の延伸、生きがいのあるライフスタイルの創造を図る。</p> <p>★参加者の増加 1回100人以上特に幅広い年代の参加</p> <p>★参加者の増加 ウォーキングマップの周知。 自主サークルの育成。</p>	<p>○こもの歩きパスポート～健康づくりウォーキングマップ</p> <p>①（菰野、鶴川原、千種地区）の作成</p> <p>②（朝上、竹永地区）の作成</p> <p>○健康ウォーキング大会（春、秋 2回開催/年）</p> <p>○てくてくウォーキング教室</p> <p>○ウォーキングサークル（ウォーキングこもの）との連携</p>	<p>○「ウォーキングこもの」の協力を得て、町内のお勧め①20コース（2～3km）②11コースの地図と見どころ写真、準備運動や記録ページをA6版サイズの冊子にまとめたウォーキングマップを作成した。</p> <p>○参加者（29年度） 5月：雨天のため中止 11月：88人（ぜんざいの振舞い、特設コーナーにてゲームを実施） 計88人</p> <p>○対象 ウォーキング初心者（おしらせ版、防災ラジオ等で周知）</p> <p>内容 4km前後の距離で、町内5地区でウォーキング教室を実施する。</p> <p>参加者（平成28年度）75人 （6.9.10.12.3月に全5回実施）</p> <p>○月1回の定例会（ウォーキング）を実施している自主サークルとの情報交換。</p>	<p>健康づくりウォーキングマップ第2弾として朝上、竹永地区のマップを作成した。 （H27年度）</p> <p>★・平成29年度に実施した健康意識アンケート調査結果より「週1回以上のウォーキングを行っている人」は65歳以上の高齢者に多い傾向がみられた。</p> <p>健康ウォーキング大会の参加者は強風など天候に左右されるが、親子で楽しめるコースの設定やレクリエーション的要素を工夫し、子どもを含む若い世代の参加と200人以上の参加を目指していく。</p> <p>・てくてくウォーキング教室では参加者同士顔見知りであり、交流は図れているが、自主サークル化にはリーダー的役割を担ってくれる人材が見つかっていない。</p> <p>30年度からはこれまでのスタイルを変更し、自主サークル化を視野にいたした教室運営をしていく。</p>

⑨運動推進事業（運動推進事業）

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
<p>・生活習慣病や、骨粗鬆症、虚血性心疾患、腰痛、肩こりなどの予防と共に青壮年期からの健康、体力づくりを推進する。</p> <p>★参加者の増加</p>	<p>○健康づくり運動教室</p> <p>○地区巡回型健康づくり運動教室</p> <p>○体力測定教室</p> <p>○女性のための健康づくり体験教室</p> <p>○大人のためのラジオ体操健康講座</p>	<p>○対象 住民（おしらせ版、防災ラジオ、健康カレンダーで周知）</p> <p>内容 ストレッチ体操、エアロビクス、リラクゼーション等</p> <p>参加者（28年度）延べ1,095人（44回実施）</p> <p>○対象 住民（おしらせ版、防災ラジオ、健康カレンダーで周知）</p> <p>内容 ストレッチ体操、リラクゼーション</p> <p>参加者（28年度）延べ1,288人 20地区</p> <p>○対象 住民（おしらせ版、防災ラジオ、健康カレンダーで周知）</p> <p>内容 生活の聞き取り、体力測定（エアロバイク/握力/垂直飛びほか5種）、運動実習（ストレッチ体操）、コンピューター診断</p> <p>参加者（28年度）19人（11月実施）</p> <p>○対象 概ね20～40歳代の女性（おしらせ版、防災ラジオ、健康カレンダーで周知）</p> <p>内容 ストレッチ体操、エアロビクス、リラクゼーション</p> <p>参加者（28年度）54人（6月、3月実施）</p> <p>○対象 住民（おしらせ版、防災ラジオで周知）</p> <p>内容 ラジオ体操、ストレッチ体操</p> <p>参加者（28年度）232人（回数12回）</p>	<p>★・平成29年度に実施した健康意識アンケート調査結果より「1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上実施している」運動習慣のある人は35.3%であり、男性41.7%に比べ女性は30.2%と少ない。</p> <p>各種運動教室の参加者は固定されてきており、人数も横這い状態にあるが、年間を通じて参加している方がほとんどである。</p> <p>平日の昼間の開催であり、参加者は60代以上の方が多く、若い世代の参加者を増やすのが難しい。</p> <p>若い世代の女性が参加できる教室の工夫が必要か。</p> <p>健康づくりのための運動習慣獲得の機会として、各種運動推進事業の周知を元気アップこもの等と連携して引き続き行っていく。</p>

⑩歯科保健事業

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
<p>・全ての年代の方を対象に各種保健事業実施の際に歯や口腔の健康づくりへの感心を深めると共に、いい歯と口腔機能を維持するセルフケアに取り組めるように支援する。</p> <p>★参加者の増加</p>	<p>○情報発信 歯の衛生週間、8020推進月間において防災ラジオにて周知を図っている。</p> <p>○歯科相談 健診を活用した歯科相談 (30歳代健診、未受診者健診)</p> <p>○歯科健診 健康福祉フェスティバルに、 歯科医師会、歯科衛生士会、 歯科技工士の協力を得て、 歯科健診、ブラッシング指導、 入れ歯クリーニングを行う。</p>	<p>○歯の衛生週間と 8020 推進月間 (29年度)</p> <p>新たに 8020 推進月間に庁舎内において「歯周病に関する最新情報」「特定健診の受診勧奨」に関するポスターの作成を行う。</p> <p>○健診を活用した歯科相談 30歳代健診(29年度) 未受診者健診(28年度) 138人/185人 健康相談(29年度) 30人</p> <p>○けやきフェスタ(29年度) 歯科検診 89人</p>	<p>★・健診を活用した歯科相談については受診者の8割近くの対象者に個別指導ができています。</p> <p>・歯の健康については、全身の健康につながることから歯や口腔の健康づくりへの関心を深めるために、気軽に相談できる機会を作ること、継続的に情報発信していく。</p> <p>・平成30年度より特定健診質問票において「食事をかんで食べる時の状態」に関して追加されることから現場把握に努めていく必要がある。</p>

⑪イベント参加事業

・事業の目的 ★29年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
<p>・健康に関する催しを開催し、広く町民の方に健康づくりに関する情報発信を行う。</p> <p>保健と福祉のフェスティバル (けやきフェスタ)</p> <p>★参加者の増加</p>	<p>保健と福祉のフェスティバル (けやきフェスタ) <u>平成29年度の協力機関</u></p> <p>○協会けんぽ三重支部……………</p> <p>○三重県桑名保健所……………</p> <p>○菰野厚生病院……………</p> <p>○三重県国保体連合会……………</p> <p>○四日市歯科医師会……………</p> <p>○歯科衛生士会四日市支部…</p> <p>○三重県歯科技工士会……………</p>	<p>○実施日 平成29年6月4日</p> <p><u>29年度の協力機関</u></p> <p>○骨量測定 192人</p> <p>○禁煙クイズ 70人 エイズ予防</p> <p>○血管年齢測定 112人 医師の相談 10人 体組成測定 130人</p> <p>○メタボ予防に関する健康相談 24人</p> <p>○歯科健診 89人</p> <p>○歯磨き指導（染めだし）、 歯科相談、 細菌カウンタ、 位相差顕微鏡（展示） 89人</p>	<p>★・けやきフェスタは春開催に変更されたが、参加者は多く好評を得ている。普段の事業では参加の少ない若い子育て世代の住民も多く参加するイベントであるため、28年度より四日市看護医療大学と協働して、メッセージカード（お子さんから家族に宛てたメッセージカード）づくりや健康クイズラリーを実施し、家庭への情報発信として活用できている。</p>

	○ヘルスマイト…………… ○健康福祉課……………	○手作りおやつを試食 ○健康栄養相談 12 人 ○乳がんモデルを利用した自己触診法の啓発 12 人	・新たに 28 年度より町内薬局薬剤師の協力を得て、お薬相談等のコーナーを開設した。今後も関係機関と連携し、内容の充実を図っていく。
--	-----------------------------	---	--

⑫医療費通知、重複・頻回受診、ジェネリック差額通知事業

・事業の目的 ★29 年目標値	事業概要	実施状況（実績）	★目標達成状況 課題と考察
<p>・被保険者の医療費等に対する認識を深めるため、厚労省通知（昭和 55 年）に基づき実施する。</p> <p>★受診習慣変容者 20%</p>	<p>①医療費通知事業</p> <p>○対象者 全医療受診者</p> <p>○実施時期 年 6 回</p> <p>○通知内容 受診年月、受診者名、医療機関名、入院、通院の別、入院等日数、医療費の額。</p> <p>○実施対象 柔道整復を含む年間診療分</p> <p>②ジェネリック医薬品差額通知</p> <p>③柔整施術内容調査</p> <p>④重複投薬者（複数薬局利用者）案内文書送付</p>	<p>①</p> <p>[第 1 回] 10～11 月診療分 4,342 世帯</p> <p>[第 2 回] 12～1 月診療分 4,300 世帯</p> <p>[第 3 回] 2～3 月診療分 4,266 世帯</p> <p>[第 4 回] 4～5 月診療分 4,300 世帯</p> <p>[第 5 回] 6～7 月診療分 4,243 世帯</p> <p>[第 6 回] 8～9 月診療分 4,193 世帯</p> <p>② 5 月診療分 480 件 11 月診療分 660 件</p> <p>③ 1～2 月診療分 80 件</p> <p>④ 10 月診療分 72 件</p>	<p>★・被保険者の認識を深めた意識改革になっているか確認が困難である。</p> <p>・重複頻回受診者に対する訪問指導は、重複頻回と特定できないため実施が困難である。</p>

⑬介護予防事業

<p>・事業の目的 ★29年目標値</p>	<p>事業概要</p>	<p>実施状況（実績）</p>	<p>★目標達成状況 課題と考察</p>
<p>介護予防の支援が必要な対象者に要介護状態となることの予防又は要介護状態の軽減若しくは悪化の防止を目的とする。 ★教室前後の体力測定や基本チェックリストの点数が維持、改善する人の増加</p>	<p>○はつらつ体力づくり教室（運動器の機能向上） 健康運動指導士によるストレッチ、椅子に座った筋力アップ体操。 対象者：25項目の基本チェックリストで心身機能の低下の恐れのある65歳以上の高齢者と、要支援1、2の認定者</p>	<p>○1クール12回（通年制）5コース ・実施回数：197回 ・参加延べ人数：2,042人 ・初回と最終回には、体力測定を実施。</p>	<p>★・基本チェックリストの結果が改善、維持されている方が増加していることで、教室参加により身体機能の維持向上につながっている。継続した参加者で25項目のチェックリストで該当になった方は、一般予防事業へ移行した。 ・デイサービスに行くまでもない事業対象者や要支援認定者の参加が増加している。 ★・参加者は、年々増加している。 ・食事のチェックシートにより食生活の見直しのきっかけになり、低栄養予防につながっている。</p>
<p>★参加者の増加</p>	<p>○いきいき栄養、健口教室（栄養改善、口腔機能向上） 管理栄養士による講義、調理実習や歯科衛生士による講義 対象者：65歳以上の高齢者</p>	<p>○年1回（1クール7回） ・実施回数：7回 参加実人数：48人</p>	<p>★・参加者は、年々増加している。 ・食事のチェックシートにより食生活の見直しのきっかけになり、低栄養予防につながっている。</p>
<p>★教室前後の長谷川式スケールの点数が維持、改善する人の増加</p>	<p>○にこにこアップ教室（認知機能の向上） 作業療法士による回想法や歯科衛生士、管理栄養士による講義と調理実習、健康運動指導士による筋力アップ体操等、認知機能向上</p>	<p>○年2回（1クール12回） 実施回数：24回 参加延べ人数：316人 初回と最終回には、長谷川式スケールを実施</p>	<p>★・教室前後の長谷川式スケールの点数は、維持している人が増加している。そのときの様子により、低下する人もいる。</p>

<p>・事業の目的 ★29年目標値</p>	<p>事業概要</p>	<p>実施状況（実績）</p>	<p>★目標達成状況 課題と考察</p>
<p>★運動教室 教室前後の体力測定や基本チェックリストの点数が維持・増加する人の増加</p> <p>★介護予防講座 参加者の増加</p> <p>・認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、効果的な支援を行う。</p> <p>★認知症サポーター参加者の増加</p>	<p>のための総合教室。 対象者：65歳以上の高齢者</p> <p>○介護予防運動教室（運動器の機能向上） 健康運動指導士によるストレッチ、椅子に座った筋力アップ体操、ノルディック・ウォーク等。 対象者：65歳以上の高齢者</p> <p>○介護予防講座（啓発） 町内の医療機関等の協力を経て、介護予防に関する知識の普及、啓発。 ・対象者：65歳以上の高齢者</p> <p>○認知症サポーター養成講座 ・対象者：町民</p>	<p>○年2～3回（1クール20回） ・対象者：65歳以上の高齢者 ・実施回数：40回 参加延べ人数：441人 ・初回と最終回には、体力測定を実施</p> <p>○実施回数：4回 参加延べ人数：157人</p> <p>○年3回 参加者数：延べ99人</p>	<p>・調理実習や回想法、運動等を行い、生活面で意識して認知機能の向上につながっている。</p> <p>★・参加者は年々増回している。 ・体力測定の結果では、バランスなど維持向上している方が多い。</p> <p>★・テーマにより参加者のバラツキはある。今後も住民が興味のあるテーマにし、介護予防に意識してもらえよう継続して実施していく。</p> <p>★・中学生も受講したので、今後も児童等にも受講を促していく。また、実施回数を増やし、認知症の理解を深めていく。</p>

<p>・事業の目的 ★29年目標値</p>	<p>事業概要</p>	<p>実施状況（実績）</p>	<p>★目標達成状況 課題と考察</p>
<p>★認知症家族の集い 参加者の増加</p> <p>★SOS ネットワーク 検索協力者・事業所の増加</p>	<p>○けやきでお茶のみ会</p> <p>・対象者：認知症の方または、認知症を心配している方やその家族</p> <p>○菰野町 SOS ネットワーク事業 徘徊の恐れのある高齢者の登録を家族等が行い、徘徊等あったときに関係機関と協力し、早期に発見につなげる事業</p> <p>登録者には、反射ステッカーを配布している</p> <p>・対象者：徘徊の恐れのある高齢者</p>	<p>○年 12 回 参加者数：延べ 205 人</p> <p>○登録者：30 人 検索協力者：268 人</p>	<p>★・毎回、認知症を心配している多くの方が参加している。中には、家族が来所し相談している。今後も継続して実施していくが、認知症の方や家族が参加しやすいよう啓発していく。</p> <p>★・登録者数は、年々増加しているが、検索協力者も増加傾向にある。検索協力者は、認知症サポーター養成講座を受講している。</p>